

## 第11回薬物乱用対策研修会 日程表(案05)

日時: 令和元年11月13日(水)～15日(金)

場所: 国立病院機構下総精神医療センター会議室

日時等	講義題	講師名(敬称略) (下総は下総精神医療センター)
<b>【第1日】</b> 8:40～9:00 9:00～9:10 9:10～9:40 9:40～11:00 11:00～11:10 11:10～12:00 12:00～13:30 13:30～15:30 15:30～15:40 15:40～16:40 16:40～17:40 17:40～17:50 17:50～18:10 18:45～	受付 オリエンテーション 開講挨拶 1. 特別講演「薬物と孤立」 2. 進化と反射と行動原理 － 休憩・アンケート記入 － 3. 条件反射制御法 － 昼食・休憩・アンケート記入 － 病棟見学(1Group:30分) 4. 薬物需要削減のための∞連携体系 － 休憩・アンケート記入 － 5. 援助側職員による対応を取締職員が補う処遇 6. 薬物乱用対策における回復支援施設の役割 － 休憩・アンケート記入 － 第1日の講義に関する質疑と応答 希望者による懇親会	事務局 下総 院長 女屋光基 日本ダルク 代表 近藤恒夫 下総 薬物依存治療部長 平井慎二 下総 薬物依存治療部長 平井慎二 下総 薬物依存治療部長 平井慎二 下総 薬物依存治療部長 平井慎二 千葉ダルク 代表理事 白川雄一郎
<b>【第2日】</b> 9:00～9:30 9:30～10:00 10:00～10:30 10:30～10:40 10:40～11:40 11:40～13:10 13:10～14:10 14:10～15:10 15:10～15:20 15:20～16:20 16:20～17:20 17:20～17:30 17:30～17:50	7. 精神科医療施設と回復支援施設の連携 8. 薬物乱用者に対する生活保護のあり方 9. 福祉担当者が対象者に施設入所を勧める技法 － 休憩・アンケート記入 － 10. 現行法下で薬物事犯者を治療へ導入する試み － 昼食・休憩・アンケート記入 － 病棟見学(1Group:30分) 11. 薬物事犯における弁護活動 12. 安全な出所後生活の支援 － 休憩・アンケート記入 － 13. 看護師主導による治療環境の安定化 14. 触法事例への多機能型診療所による対応 － 休憩・アンケート記入 － 第2日の講義に関する質疑と応答	下総 専門病棟副看護師長 加藤照代 下総 専門病棟看護職 鈴木菜央 下総 薬物依存治療部長 平井慎二 NPO 法人アパリ 事務局長 尾田真言 高橋洋平法律事務所 所長 高橋洋平 結のぞみ病院 副院長 中元総一郎 下総 専門病棟看護職 中村徹也 ほっとステーション 大通公園メンタルクリニック 院長 長谷川直実
<b>【第3日】</b> 9:00～10:00 10:00～11:00 11:00～11:10 11:10～12:00 12:10～13:00 13:00～14:00 14:00～14:15 14:15～14:35 14:35～16:30 16:30～16:40 16:40～16:50 16:50～17:00	15. 薬物乱用者に対する更生保護のかかわり 16. 薬物事犯における検察の業務 － 休憩・アンケート記入 － 17. 同一違法行為反復者の責任と疾病と各対応 － 昼食・休憩・アンケート記入 － 18. 治療の不作为に対する刑罰の実現まで 19. 条件反射制御法を体験した患者の報告 － 休憩・アンケート記入・配置転換 － 20. 刑罰と治療の言い渡しへの各機関の関わり － 休憩・アンケート記入 － 第3日の講義に関する質疑と応答 閉講式	神戸保護観察所 所長 生駒貴弘 千葉地方検察庁 次席検事 清野憲一 下総 薬物依存治療部長 平井慎二 北海学園大学 法学部教授 飯野海彦 体験者 下総 薬物依存治療部長 平井慎二

※当日の進行状況あるいは研究の進捗、社会の変遷等で、講師およびプログラム内容が変更されることがあります。